

令和5年度まちかどミーティング会議録

開催日 令和5年9月27日（水）

地 区 山手町・花園町地区

会 場 見山町総合福祉会館

<意見交換>

◆市民 山手北光町内会、・・・といいます。よろしくお願いします。

二つあるんですけど、一つ、先ほどのDJゼロカーボンのコツコツラジオ、大変分かりやすく、興味深い、聞きやすいものをありがとうございました。大変役に立ったと思いますし、私もレジ袋をポケットに入れて、もらわないようにしていたりとか、バッグごとに持ち歩いて、何個か持っていますけど、その中で一つ、気になるというか、自分の中にあるのが、レジ袋とかプラスチックごみなんですけど、極力分別して出すようにはしているんですけど、前にテレビでプラごみが日本から東南アジア方向に輸出されて、そのプラごみが結構汚れているみたいなごみがあったら、川に捨てられて、海洋プラスチック汚染の原因になっている。今、テレビを、何年か前なんですけど、見たことがあって、本当に分別しているプラスチックがちゃんと川とかに行かないんだろうかという、ちょっと不安を持ちながら分別しているんですけど。

それで、ごみ収集の方に聞いたら、いや、それは大丈夫だと思うんだけどという話なんですけど、ちょっとそれをテレビで見ていたものですから、大丈夫だろうかと、ちょっとかすかな不安があるというのが一つですね。

もう一つあるのが、去年のまちかどミーティングでもお話ししたんですけど、うちの山手の、ほかもそうでしょうけど、アパート、公営、市営住宅が何棟かありまして、それで、町内会費を集めるのはいいんですけど、共同通路の電気、街灯、アパートの通路ですね、共有部分の電気代をアパートで集めなきゃならないというのがあって、うちの場合、結局町内会の役員とか班長さんとかが、町内会費のほかにそこに併せて、含めて電気代を集めているんですけど、払わない人が、なかなか払いたがらない人がいて困ると。

また、それが基でもう役員をやりたくない、一時は町内会の班長さんが、町内会自体を辞めますという人が、班長をやらなくていいですから、ばらばらと数年前に出た時期もあったり、そういう非常に苦慮しているというのが現状で、去年は、そこは市としても課題に感じて、何らかの形で、電気代も含めての住宅料にするとか、何か、何らかの形で検討はしている。ぜひ前向きにしていきたいというようなことで承っているんですけど、その辺、そういう課題があるということで、ぜひ前向きに受け止めて進めていただけたらと思っております。

以上です。

○司会 ありがとうございます。

2件ご質問いただいたんですけども、まず1点目の分別したプラスチックごみが適切に処理されているのかというようなご趣旨かと思しますので、回答のほう、お願いいたします。

◎**ゼロごみ推進課長補佐** お疲れさまです。ごみのことを担当しているゼロごみ推進課の浅野目といいます。よろしくお願いします。

まず、プラスチックの収集の行き先ということだったんですが、恐らくテレビ等で拝見したのは、バーゼル条約といいまして、中国のほうにごみとかを輸出できないような、それを禁止するという法律があったと思います。

ただ、苫小牧市に関しましては、平成23年からプラスチックの収集も始めているんですけども、ほかの都市と違いまして、プラスチックのマークがついていることと、製品をそのまま押し出していく、例えば定規ですとか、プラスチック単体のもの、全てのプラスチックを回収いたしまして、その回収されたものについては、中間処理施設でまずプラスチックのマークがついているものとそうじゃないもの、プラスチック単体のもの、全てを選別いたしまして、プラスチックのマークがついているものは日本容器包装リサイクル協会のほうに必ず流しまして、そちらのほうで再生品ということでリサイクルされるんです。

それ以外も、その他プラスチックにつきましては、固形燃料化ということで全て苫小牧市、皆さんから出されたプラスチックについては、きちっとリサイクル処理しておりますので、そのような心配事は全くないということでご理解いただければなと思っております。

以上となります。

○**司会** 次に2点目が市営住宅の共益費の集金に関してということで、市のほうから回答をお願いいたします。

◎**住宅課長** 住宅課の南川です。今、昨年いただいたご要望のことかと思えます。

市営住宅の共益費を市で徴収してもらえないかというご趣旨のご要望について、昨年度はここで、前に説明させていただいたときに答えさせていただいたと思ひまして、現在検討を進めておりまして、当然入居者の方からはお金をもらうこととなりますので、例えばその金額とか条例とかで、その価格設定をどうするかというところをやっておりますが、例えばこのような5階立ての建物でも、実際に今各自治会がやっている料金の明細書となると、かなりばらつきがあって、そこをこの金額にしようというのを決めかねる状態です、ここを今慎重に精査しているという状況です。

あと、本来であれば今ぐらいの時期に各入居者の方々に、市の考え方をお示して、いかがでしょうか、どう思いますかというような予定をしていたんですけども、今、ちょっと区画整理というところで難儀しておりまして、もうちょっとお住まいの方々にご案内してと思っておりますけれども、どういった形で料金徴収しようかとか、システム的にはどう改善をすればいいのかということもありますので、もう少々お時間をいただければと思ひます。

よろしくお願いします。

◆**市民** 去年の…。

◎**住宅課長** 価格が決まれば、ここで内部で検討して、来年の予算案にシステム改修費を計上させていただければというふうな考えです。

◆**市民** 分かりました。来年の、再来年の…。

◎住宅課長 なので、実施は再来年度を目指したいと、今私のほうの回答です。

○司会 今、マイクをお持ちいたします。

◆市民 北光町内会の・・・と申します。

町内の要望ではないんですけれども、最初の説明があった来年4月からの戸別収集85、このチラシの中身ですね。マンションだとか、アパート、とかに住んで居る人達の85歳以上の方というのはどういうふうに収集されるんですか。

○司会 ありがとうございます。それでは、来年度から予定している戸別収集85のマンションとアパートに住まわれている方についてということで、お願いいたします。

◎ゼロごみ推進課長補佐 ごみのことに関連して担当しておりますゼロごみ推進課の浅野目といいます。

まず、今回、戸別収集85だったんですけれども、こちらの対象の方があくまでも一軒家、戸建て住宅に住まわれている方ということを対象にしております。さらには、最新の要件といたしまして、例えば介護保険サービスを有している方ですとか、そういった方たちには市のほうで既にふれあい収集というサービスを行っておりますので、そちらのほうの利用を促していこうと思っております。

なので、今回の回収といたしましては、マンションですとか、共同住宅に関する方については、今回の85の対象とはならないというところになりますので、現在使っているごみステーションに出していただくという形にしたい。今の段階ではならないというところでございます。

○司会 よろしいでしょうか。

◆市民 はい、分かりました。

○司会 それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。

◆市民 山手町内会の・・・と申します。

今、戸別収集85に関して質問したいんですけれども、今、ごみの収集を見ていると、業者が走り回って収集していると、そういう状況の中で、さらに収集場所が増えるということになると、その日のうちの回収というのが、それが可能なかどうかというところがまず一つですね。

それから、同じく団塊の世代がね、10年もすればみんなも85になってくる。そうすると、その前から戸数がぐんぐん増えてくるわけなんだけども、その場合、市のほうの対応というのは可能なんでしょうか。

以上です。

○司会 ありがとうございます。

戸別収集85について、回収が追いついていくのだろうかということと、将来、戸数が増えていったときにも対応可能なかということで、回答をお願いいたします。

◎ゼロごみ推進課長補佐 ゼロごみ推進課、浅野目といいます。

貴重なご意見をありがとうございます。まず、今回の戸別収集というところのお話だったんですけれども、今、言われたように近年でやはり人手不足の問題ですとか、社会的な情勢、物価上昇の問題がありまして、なかなか全市的に拡大というのは難しい状況にございました。

しかしながら、福祉のまちを目指す苫小牧市といたしましては、まずはこの高齢者のごみの収

集を対策したいということで、今回 85 歳という年齢の指定をさせていただいたのは、ある程度、どれだけの件数が対象者になるかというのを、こちらのほうで数字のほうを若干押さえさせていただいておまして、その意味で、収集業者と協議を若干させていただいた上で、今回 85 歳が対象ということでさせていただいております。

ですので、収集をきちっと総じて確実に対処できるということで進めていこうというふうに思っているんですけども、何分これもですね始まってみないと、どれだけの申込者があって、どれだけになるかということがなかなか分からないところもありますので、これに、戸別収集 85 につきましては、来年導入いたしまして、その後、いろいろ検証を重ねた上で、拡大していくかどうかを含めまして、再度検討させていただきたいと考えてございます。

以上でございます。

○司会 それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。

すみません、2回目以降は1回目の方がもしいなかったらということで、まず、まだ発言されていない方で、どなたかご意見がございましたら、挙手をお願いいたします。

今、マイクをお持ちいたします。

◆市民 山手北光町内会の・・・といいます。

戸別収集の関係で、前回は試験的に地域で戸別収集をしているところがあるみたいですが、こういう地域で試験的にやっているところは、どうなるのでしょうか。

○司会 戸別収集についてということで、回答をお願いいたします。

◎ゼロごみ推進課長補佐 ゼロごみ推進課、浅野目といいます。よろしくお願いします。

現在、モデル地区ということで14地区、戸別収集のモデル地区ということでさせてもらっております。この地区につきましては、引き続きこのまま戸別収集を継続させていただいて、現状の出し方ですとか、時間ですとか、そういったことも含めて、基礎データとして、きちっと取らせていただきたいと思いますので、引き続きこの地区については戸別収集を続けていくということで考えてございます。

以上です。

○司会 よろしいでしょうか。

それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。

◆市民 山手町内会の・・・と申します。よろしくお願いします。

山手町の二丁目にあります9階、10階立ての市営住宅、2026年から取壊しが予定されています。山手町に限ったことではございませんけれども、市営住宅の取壊しに対して、転居される方々、高齢者の方が非常に多くおられる。出るに際して、ほかの市営住宅へ転居される方もいらっしゃいますけれども、高齢者の中では施設入所を検討される方もかなり多く出ると感じております。

包括支援センターですが、個別対応事業所などのほうに行政のほうからも十二分に対応ができるよう、ご指示をお願いしたいと思っております。

以上です。

○司会 ありがとうございます。市営住宅の取壊しに伴う高齢者の転居についてということで、市のほ

うから回答をお願いいたします。

◎総合福祉課長 ご意見をありがとうございます。総合福祉課長の細野でございます。

今の部分につきましては、住宅課のほうとも情報共有をさせていただきまして、丁寧に対応させていただくようにしたいと思いますので、もし何かありましたら、ご意見等をいただければと思います。よろしく申し上げます。

○司会 ご質問等がございましたら、挙手のほうをお願いいたします。

もしなければ、2回目以降のご質問をお受けしたいと思います。お願いいたします。

◆市民 北光町二丁目の・・・と申します。

ちょっと2件あるんだけど。

○司会 1件ずつお伺いしたいと思いますので、申し上げます。

◆市民 4番の(2)の要望のところの回答にも書いておりますが、追加をしてやっていただきたいということなのですが、歩道のところが暗いという要望で、大変明るくなりました。これは助かっております。

本当にあかりが明る過ぎると言ったら語弊がありますけれども、それによって、橋の脚というの、遠くなるんですね、脚が。そこの北側が基礎の部分が広いものだから、北側の部分を通る人はいないんですけれども、非常に暗いんですよ、明るくなり過ぎて、そこが、暗いところが目立つと言えば目立つんだよね。

○司会 暗い場所のほうは、どちらに。事前要望の2番に関連するところで、同じ地区の場所ということではよろしいですか。

◆市民 ここと同じ場所。

○司会 そうしましたら、事前要望の4番の(2)のところ、照明の関係の回答をいただいているんですけども、そこがまだ暗いというようなご趣旨でよろしいでしょうか。

◆市民 というのはですね、暗いのを直してという要望を入れたときに、よく道路側じゃなくて、日中だからまだいいんだけど、ちょっとめちゃくちゃ出っ張って、何回もあるんですよ。

近くの奥さん方だと思うんだけど、私のところに、私は近いものだから、たまたま表へ出て行ったら、バスでいるんだけど、ちょっと何とかならないの、この出口は、とか言ってたものから、このときには書いていませんけれども、北側ですね。

広いんですよ、影になって道路が、自転車、歩行者が歩いても、今言ったあたりにいても分からないと思う。

私のほうがたまたま北側から見えるものだから、そういうことがあるので、追加として何とかあかりが欲しいなど、やってほしいなという要望です。

○司会 そうしましたら、事前要望4の(2)で、JR花園跨線橋の北側のところはまだ暗いというようなご趣旨でよろしいでしょうか。市のほうから回答はできますでしょうか。

◎市民生活課長 市民生活課で町内会の方を担当しております。畑島と申します。防犯のほうも担当しております。

今回、跨線橋の下、道路照明として取り付けさせていただいたところのほかに、北側になるん

でしょうかね、そこの部分の道路のところはまだ暗いというお話なんですけれども、一応、今回道路の照明としてつけさせていただいた部分に関しては、一旦解消はしているかと思うんですけども、道路の照明というわけではないかと思しますので、もう一度改めて場所も確認させていただいた上で、設置ができるかどうかも含めて、一度お話をお聞かせいただきたいと思いますので、二度手間になるかもしれませんが、よろしくお願いいたします。

○司会 それでは、ほかにもなにかいらっしゃいませんか。

今、マイクをお持ちいたします。

◆市民 山手北光町内会、・・・です。

来年4月からの戸別収集85、これの部分で、こういうのがあるんだなと、今日、知った次第ですみません。それで、これを申し込んだ方がいたときは、見えるところにいわゆるごみ収集のセットといいますか、網をかけるようなものが設置されるのか、それとも町内会でやっている廃品回収のときに何もなしで、生ごみだったらカラスとかが来るので、まずいだろうと思うんですけど、その辺、どういう感じで考えているのか、あったら。

○司会 戸別収集85のごみの出し方に関する事ということで、市のほうから回答をお願いいたします。

◎ゼロごみ推進課長補佐 ゼロごみ推進課、浅野目です。お願いします。

まず、戸別収集というものにつきましては、まず容器についてはご自身で準備していただいております。置く場所については、玄関先、敷地内かもしくは道路際に置くというところで、こちらについても、今回この85につきましては、最終的に置く日と決まった日に、現地のほうで調査をさせていただこうと思っているんですよ。

その上で、どこがいいかという話もさせていただきたいと思しますし、まずは受付以降のお話、詳細については今はまだ詰めているところがございますので、改めて今後、詳細が分かり次第、別な形できちっとご説明させていただきたいと考えております。

よろしくお願いいたします。

○司会 それでは、ほかにもなにかいらっしゃいませんか。

今、マイクをお持ちいたします。

◆市民 啓北町内会の・・・と申します。

7町内会の打合せのときに、鹿を何頭だとかを捕獲したというお話を聞いたんですけども、それはもうただ捕まえて山に帰したのか、避妊処置とかをして放したのか、その辺をお聞きしたいんですけども。

○司会 ありがとうございます。ただいま、捕獲した鹿がどのようになっているかということで、市のほうから回答をお願いいたします。

◎環境生活課長 お疲れさまでございます。環境生活課で野生動物を担当しています武田と申します。

市では、令和4年度から市街地周辺の鹿の捕獲事業を開始したところがございます。令和4年度、156頭、捕獲をしております。この捕獲した鹿については、野生動物ではありますがけれども、住民にいろんな被害を及ぼすということで殺処分いたしました。その後、ペットフードとして有効活用を図っていこうということでございまして、捕獲したものを山に帰すということ

はずに、市のほうで処分しております。

以上でございます。

○司会 それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。

もしなければ、3回目以降、先ほどの方、お願いいたします。

◆市民 北光町内会の・・・です。

6番の(3)市内路線バスの値上げということで回答をいただいています。単純に私のほうから言わせてもらうと、あまり上げてほしくない、暮らしのほうが大事です。そんなことばかり言っていられませんよね、企業さんも大変なところを努力されているというようなことも書いていますので、十分市長さんも交えてあまり上がらない状況で上げていただければと思います。

それで、無人電気自動車、これに乗られた方もいらっしゃるかと思いますけれども、私、今週かな、出光のカルチャーパーク、そこのバス停から苫小牧駅まで15分ぐらいでしたけれども、カラフルなバスといったらいいのかな、電気自動車ですけれども、やはり15分の間、街を行く人が立ち止まって、あれ、何だろうと。あのカラフルさだから見られるのかな。走っている電気自動車なんだと、どう見えているか分かりませんが、私は乗っていて見られているというあれは何となくありました。

私が乗ったときには6時くらいだったかな、いろいろと乗っていて聞いたら、「時間帯によって満車になるし、途中も乗れないこともあるよ。」なんて言っていました。

私、勝手に苫小牧の冬の状況なんかは知っているのかなんて生意気なことをちょっとだけど、できれば苫小牧の冬道も試験をやってみたいなと言っていました。ただ、そちらの方では、冬の道の試験もやっていますというお話をいただきました。

苫小牧の道路状況、普通、札幌から見たらすごい違いだよというのは、私なりに言っているんだけど、そんなことで、まず乗ったら、走行については、ほとんど問題はないのかな。これから、皆さんでいろいろと検討されていくものがたくさんあるかと思うんですけども、早く乗れるような体制になれば省エネにつながっていくんじゃないかと、そんなことを感じました。ありがとうございます。

○司会 ありがとうございます。

2点いただきまして、1点目が要望番号6の(3)市内路線バスの運賃の値上げについてと、二つ目は、今苫小牧で実証実験をしている自動運転バスに乗っていただいたご感想ということでいただいたと思いますので、市のほうから回答をお願いいたします。

◎まちづくり推進課主幹 苫小牧市で乗物の担当をしております村上と申します。よろしくお願いたします。

まず1点目の運賃の値上げにつきまして、お話もありましたとおり、昨今の燃料費の高騰ですとか、そういうところがあると、やっぱり事業者も大変経営が厳しい状態というところがございます。なので、市としましては、やはり事業継続に向けて、今回の値上げというのはやらざるを得ないというふうに思っておりますけれども、実は夜、例えば、電気代の値上げというところが非常に今回多く値上りするということが分かってございまして、この12月の値上に合わせま

して、子育て世代の支援としまして、定期代の値上げの半額を補助するように、私たち市のほうで対応させていただいているという状況でございます。そんなところで、まず、ご理解いただければなというふうに思います。

2点目の自動運転につきまして、非常にお褒めの言葉をいただきまして、本当にありがたいと思ってございます。やはり、今回のイラストも目立っているというところは、苫小牧の東中学校の美術部の皆さんとかに協力していただいて、市民の皆さんで作り上げた車体になってございます。

冬道とかもぜひ挑戦してもらいたいということでもございましたけれども、私たちのほうも2024年問題ですとか、運転手不足というところで、どこまでこのバスというのがそこに資するかというところは、まだ未確定な部分はあるんですけれども、やはり挑戦しなくてはならない部分だというふうに考えてございますので、次年度も国のほうの補助金の申請とかの件はあるんですけれども、挑戦して、数年でまず北海道という厳しい環境の中で走らせることができるかどうか、そのところを検証していきたいというふうに考えてございます。

以上でございます。

○司会 それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。

今、マイクをお持ちいたします。

◆市民 山手町内会の・・・です。

ちょっと興味本位でお聞きしたいんですけど、ごみの焼却場は年間の油代といいますか、焼却代というか、それは大体どのぐらいかかっているのか。

それと、それを燃やすことによってCO₂はどのぐらいの量が出ているのか、そこら辺をお聞きしたいと思います。

○司会 市のほうで回答できますでしょうか。

◎環境衛生部次長 環境衛生部の鈴木と申します。ご質問をありがとうございます。

まず、ごみ焼却場の燃料の使用、これにつきましては、ごみ焼却自体は自然に燃えますので、立ち上げは燃料使うんですけれども、火がついてしまえば割と自然に燃えますので、ごみの中には生ごみもあれば、プラスチックが混ざっていますので、あとは自然に燃えるということで、このところ、燃料は使っていない。助燃剤というんですけど、そういったものは使っていないということが現状でございます。

それと、CO₂の発生量ですね。これについては、先ほど、焼却場から出るCO₂の発生量ですけれども、年間で約1万7,000トンということでございます。

先ほどからゼロカーボンの話をさせていただきましたけれども、ごみの中には生ごみと、あとは化石燃料、プラスチックですとか、そういった化石燃料由来のごみがございます。生ごみ由来、自然にある木ですとか、生ごみですとか、紙ですとか、そういったものは自然由来で、それを燃やしたときに出るCO₂というものはゼロカーボンという扱いになります。

化石燃料由来というのは、プラスチックが燃えたときに、プラスチックは化石燃料からできていますので、石油からできていますので、そちらのほうでゼロカーボンの際にはCO₂が発生するとい

う扱いに、国際ルール上なっております。

その割合は、大体7割が自然由来、木ですとか、紙ですとか、それからバイオマス由来ということでCO₂は散布されないと。ただ、残りの3割はプラスチック、要は化石燃料、石油由来ということで、そちらを何とか減らしていきたいということで、皆さんにはプラスチックごみも分別のご協力をお願いしているというところでございます。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

◎司会 それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんかでしょうか。

先ほど、席を外されていた方も、ご質問等はございませんでしょうか。大丈夫でしょうか。

それでは、ないようですので、少しお時間が早いんですけれども、意見交換のほうを終了させていただきたいと思います。

最後に、本日のまちかどミーティングの終了に当たり、岩倉市長よりご挨拶させていただきます。

◎市長 いろいろとご指摘、あるいはご質問をいただきましてありがとうございます。

すぐ対応できることは、しっかりとスピード感を持って対応していきたいと思っておりますし、時間がかかることについては、時間がかかりますということをしっかりと説明して対応していく、そういう市の姿勢が今問われているのではないかと思います。

ゼロカーボンも、僕が市長になったのが17年前で、ゼロごみ大作戦を一番最初にやったのが16年前になりました。そのときに、ペットボトルにキャップをつけたまま資源センターに行くのが7割あったんです。それを子供たちに参加してもらって、学校でキャップを集めて、そのキャップでワクチンを後進国に送るという取組をしました。そうしたら、たった1年で7割つけたものが3割になったんです。

そういう、私にしてみれば成功体験を市民の皆さんの理解をいただいて、たった1年で7割が3割になった。それが非常にゴミ行政のスタートに当たって、非常に大きなことであります。ごみの減量とリサイクル推進とまちの環境美化、この取組がゼロカーボンにも資する効果があるということについては、本当に今説明をしたとおりであります。

もう一つあります。糸井と沼ノ端の2か所にあった焼却炉を1人1日550グラムという目標をつくって、市民の皆さんに協力してもらったら、1か所で済むようになったんです。糸井が老朽化していましたから、あれをもし新しいものにするには30億円から40億円、ランニングコストで2億円から3億円かかる。今、物価が上がっていますから、今やったらもっと投資が必要になります。

しかし、市民の皆さんの協力のおかげで、1か所でごみ処理ができるようになった等々、本当に市民の皆さんのご理解、ご協力があって、ごみ行政をしています。

同じようにゼロカーボン、カーボンニュートラルも、ぜひこれからも市民の皆さんと一緒に取り組んでいきたい。産業分野から7割以上出ているとはいえ、アフターファイブになったら、みんな家庭人になります。仕事をしている人も家庭にいる人も、みんなで次の世代のためにゼロカーボンに取り組む必要があるということで、初めて2年間かけて、ゼロカーボン×ゼロごみ大作

戦！を展開している最中でございますので、ぜひこの地域の皆様方にもご協力をよろしくお願いしたいというふうに思います。

最後のお礼のご挨拶ですね、今日、山本副市長が1回も発言していないんですよ。ちょっとかわいそうなので、最後にお礼だけ。

◎副市長 副市長の山本でございます。

今日は確かに、うちの職員も適確にお答えさせていただきましたので私の出番ありませんでした。

今日、皆様からの本当に、今回DJゼロカーボン、うちの若い職員なんですけれども、皆様から非常に関心を持っていただけたことを非常にうれしく思っております。関連のご質問をありがとうございました。長時間ありがとうございました。

それで、先ほど、皆さん、今非常に過ごしやすくなってまいりましたけれども、苫小牧市はずっと暑い日が続いた夏だったと思います。そういった意味で、地球温暖化の影響もあるかなと思っております。そういった意味では、市民の方々、お一人お一人ができることから、まさしくDJゼロカーボンのお話がありましたとおり、電気を小まめに消すですとか、LEDに替えてみるとか、そういった皆様のちょっとした習慣、努力がゼロカーボンの実現に向けて寄与しているものと考えてございますので、今後とも、ご協力をよろしくお願い申し上げまして、最後の挨拶にかえさせていただきます。 本当に今日はありがとうございました。

○司会 以上をもちましてまちかどミーティングを閉会いたします。本日は、誠にありがとうございました。